

設 立 趣 旨 書

2022年7月8日、宗教2世という言葉が社会に広く知られる契機となった安倍元総理銃撃事件が発生しました。改めて、凶弾に倒れた安倍元総理のご逝去を悼み、心よりご冥福をお祈りいたします。この不幸かつ不本意な事件以降、メディアによって宗教2世という言葉が頻繁に報道されるだけでなく、宗教2世自身がメディアの取材に応える機会や、国政関係者と対話をする機会が爆発的に増加しました。

宗教2世・宗教2世問題という言葉には様々な定義や解釈があり、これらを明確に位置付けたものは存在しませんが、広義に解釈すれば、宗教2世とは信仰を持つ親や家族のもとで育ち、当該信仰の影響を受けて成長した者及び現に成長している者であり、宗教2世問題とは、一部の宗教2世が親や家族、親や家族と同じ信仰を持つ信者から受ける、信仰を理由とした児童虐待やその他の人権侵害、及び生きづらさのことと考えます。

宗教2世問題の実態が社会に広がり支援の機運が盛り上がること自体は、現に苦しむ宗教2世を救済するため歓迎すべきことではありますが、頻繁にメディアの取材に応え、国政関係者と対話を重ねている宗教2世は、同様の活動をしている宗教2世と個々に連携を取りながら、自らの生活を犠牲にしつつ活動を継続しているのが実態であり、個人を基礎とした活動は既に限界を迎えつつあります。

宗教2世問題の根深さは、活動の必要性が年単位で継続することを容易に想像させるものであり、継続的に社会へ宗教2世問題を訴えていくうえで、活動の基盤となる宗教2世を中心とした団体の必要性は高まっているものと考え、宗教2世問題の防止啓発活動を通じて宗教2世の権利擁護を図り、宗教2世の生きづらさの緩和・解消を図り、もって宗教2世問題を根絶することを目的とした、「宗教2世問題ネットワーク」をここに設立します。

2022年12月4日

団体の名称 宗教2世問題ネットワーク

設立代表者 団作（だんさく）